



令和2年度 宿利原小学校だより

宿っ子 10月①号



学校のホームページは上のQRコードからお入りください



秋 ～ スポーツから始まり、読書、勉学へ ～
校長 有留 盛昭

例年、熱中症を心配する秋季大運動会ですが、肌寒ささえ感じるほどの雨模様となりました。保護者や地域の皆様の御協力により、種目を精選しつつ、通常とほとんど変わらない内容のまま、感動の大運動会を終えることができました。今年度は、大学生の参加を遠慮していただくなど、少々さみしく思うところもあったかと思えます。しかし、御参加くださった皆様には、体温計測や三密の防止など、新型コロナウイルス感染予防への御協力、また準備から片付けまで積極的に関わっていただきましたことに心から感謝申しあげます。本当に有り難うございました。

さて、10月に入り一気に朝夕が肌寒くなり、秋めいてきたように思います。この過ごしやすい季節は一気に「文化の秋」・「読書の秋」・「勉学の秋」へと子供たちの生活を移行させていきたいところです。

まずは、「文化の秋」です。全校体育を時間割に位置付け運動会に向けて取り組んでいましたが、9月下旬から「全校音楽」が時間割に位置付けられるようになりました。11月に開催する「やどりはら秋まつり」に向けての準備が始まったのです。運動会と違い、屋内運動場（体育館）で実施するため密になりやすいことや、インフルエンザなども考慮した感染症対策が必要になるため、こちらも例年通りの開催は難しいですが、現在入場者の人数制限や入場者入れ替え、インターネットを用いた発表視聴などを画策している状況です。できるだけ多くの皆様に子供たちの輝く姿をお見せできるようにしたいと思っています。

次に、「読書の秋」「勉学の秋」です。学校では、年5回「家庭学習強調週間」を設定して、家庭学習をいつも以上に充実させる取組をしています。その期間は、毎日の家庭学習や読書の時間を記録するようになっていきます。これまで、5月、6月、9月に実施しました。現在の学年に慣れが出てきたためか、少しずつ学習時間が短くなる傾向が見られます。特に、休日前夜から休日にかけての学習時間が短くなる傾向があるようです。読書については、読書が習慣付いている子どもとそうでない子どもの差が大きくなってきました。読書については、11月に行う校内読書旬間に向けて、次の学校だよりで述べさせていただきますので、ここでは「家庭学習の効果」を少しだけ紹介させていただきます。

家庭学習は、必要でしょうか。絶対に必要です。「机に向かったの勉強より、身体を鍛えた方がいざというときに踏ん張りが効く」「子供がその気になっていないのに、やっても身に付かない」「うちの子は後を継ぐから」そのような声をこれまでも耳にしたことがあります。学習もスポーツも同じです。鍛錬・積み重ねがあってこそ、実を結びます。家庭学習を積み重ねることで①学習方法が身に付き、自分で要領よく学習をこなす力が身に付きます。また、②自分で学習することが習慣付き、自分の学習時間を見いだす力が身に付きます。自分で進める学習を毎日続けることは、節制や忍耐力を育み、自己管理能力を育みます。本当に必要だと感じたときに子供自身が困らないために、それぞれの家庭で見届けていただけたらありがたいです。子供たちの未来を拓くお手伝いをお願いいたします。

